

日光国立公園の公園計画の変更について

1. 変更の理由

日光国立公園は昭和9年12月4日に阿寒、大雪山、中部山岳及び阿蘇国立公園などとともに指定された、わが国初期の公園の一つである。

日光地域は、栃木県日光市、群馬県片品村など2県2市2町2村にまたがり、最高峰の白根山(2,578m)をはじめとした2,000mを超える山々が連なり、これらを覆う亜高山性針葉樹林など原始性の高い森林と、中禅寺湖などの湖沼、華厳ノ滝、竜頭ノ滝など瀑布が多数点在し、傑出した景観を呈している。戦場ヶ原、小田代原などの高層湿原には貴重な湿性植物が豊富であり、特色ある湿原景観を呈している。

日光地域の公園計画は、指定以来、幾度かの利用施設計画の追加・削除の後、社会条件の変化に対応するため、平成9年9月18日に全般的な見直し(再検討)が行われ現在に至る。

今回は、再検討後8年が経過しているため、公園区域及び公園計画の点検(第1次点検)を行う。

2. 変更案の概要

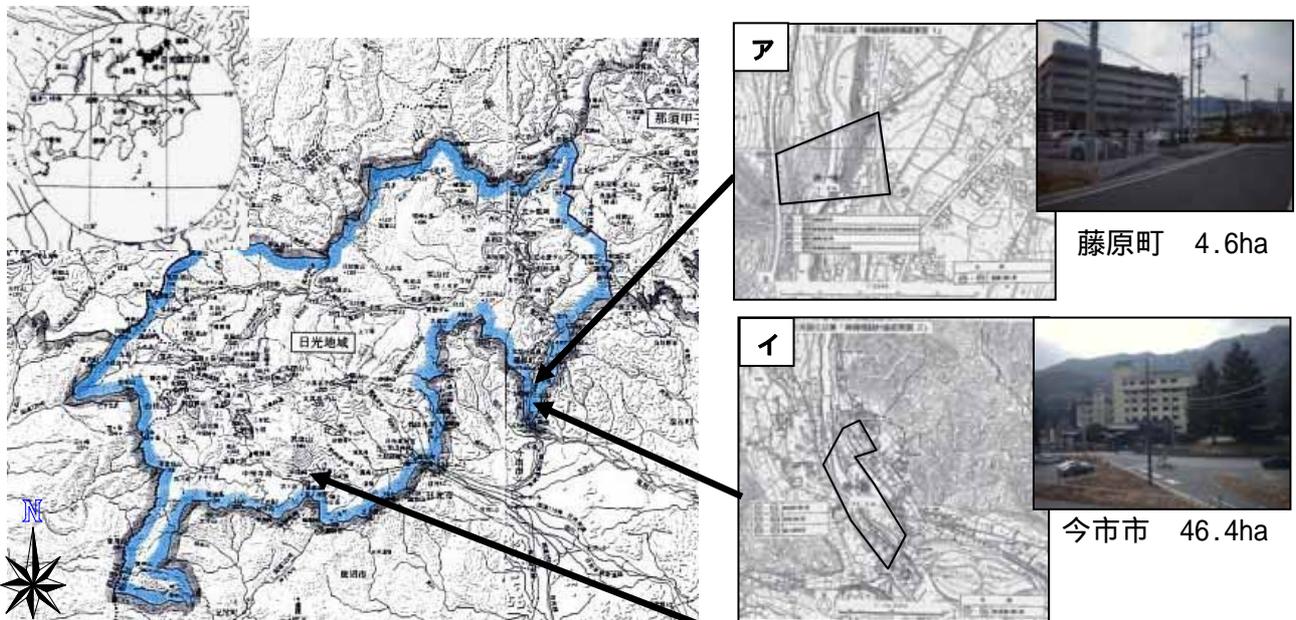
(1) 保護規制計画の変更

ア 特別地域の区分線の明確化を図るため、第2種特別地域の一部を普通地域に振替える。

栃木県塩谷郡藤原町松原の一部 (面積4.6ha)

イ 建物が建ち並び、特別地域の資質を失っている第3種特別地域の一部を普通地域に振替える。

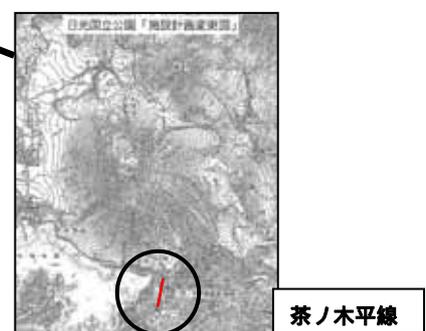
栃木県今市市栗原の一部、同県塩谷郡藤原町柄倉及び高徳の各一部 (面積46.4ha)



(2) 利用施設計画(索道運送施設)の削除

今後整備される見込みがないため削除する。

- ・茶ノ木平線 起点：栃木県日光市(中宮祠集团施設地区)
終点：栃木県日光市(茶ノ木平)



日光地域は、栃木県日光市、群馬県片品村など2県2市2町2村にまたがり、最高峰の白根山(2,578m)をはじめとした2,000mを超える山々が連なり、これらを覆う亜高山性針葉樹林など原始性の高い森林と、中禅寺湖などの湖沼、華厳ノ滝、竜頭ノ滝など瀑布が多数点在し、傑出した景観を呈している。

戦場ヶ原、小田代原、鬼怒沼などの高層湿原は、貴重な湿性植物が豊富であるばかりでなく、それぞれに特色のある湿原景観をみせている。

野生動物は、ツキノワグマ等の大型哺乳類から鳥類、昆虫類に至るまで種類、量ともに豊かであり、わが国屈指の生息地となっている。特にニホンジカ、ニホンザルは生息密度が高くなっている。

さらに、世界遺産に登録された東照宮をはじめ二社一寺の優れた歴史的、文化的遺産は、周辺の自然と一体となった優れた人文景観を呈している。

本地域は、東京から鉄道や東北自動車道で容易にアクセスしやすく、外国人も含め多くの利用者が訪れている。